

組合そくほう

全大教ホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp/>

信州大学教職員組合 URL <http://www7a.biglobe.ne.jp/~akarenga/>

信州大学教職員組合事務局
直通電話：0263-33-0933 (FAX 兼用)
内線：811-2341
akarenga@kbf.biglobe.ne.jp

通算 906 号 2021 年 7 月 28 日 発行

第54 回全大教定期大会報告

今年度の全大教（全国大学高専教職員組合）定期大会が 7 月 17 日に開催され、前年度に続き Cisco Webex Meetings を用いたオンラインの形式で実施されました。66 単組の代議員の参加ほか、中央執行委員など 21 名や 18 名の傍聴者で計 105 名が参加しました。冒頭に、鳥畑中央執行委員長長の挨拶があり、新型コロナウイルス感染症に対する取り組みやその課題、裁判闘争の総括などについて触れ、形式的でない大会などにしたいと述べられました。

第 1 号議案として、2021 年度納入人員が承認されましたが、315 名減（-5.3%）の約 6000 名が納入人員数です。信州大学は+1 名の 177 名です。組合費の納入の基準を満たしていないため納入人員について協議申請のあった単組が 43 あり、信州大も含まれていますが、今期基準の 90%への回復を目指した立案を提出しなければなりません。この点は、これから本執行部で検討していきます。しかし、この全大教加盟単組の納入人員一覧から察するに、全般的に組合加入率の低さと単組によりかなり状況が異なることが初めて知りました。

その後、2020 年度の活動・決算が報告され、2021 年度の運動方針、予算等には比較的時間をとって審議されました。議案の詳細については全大教のホームページを御覧ください。2 回目のオンラインでの採決ということもあり、事前にアクセスと採決の練習も行い、当日は若干の混乱はあったが、2021 度の活動方針以外はほぼ時間どおりに進みました。今年度の活動方針について特に以下のような点が議論されました。

- ・新型コロナウイルス感染症に対応するための環境整備にむけた取り組み：オンライン作業の増加で、VDT 作業が延長し眼精疲労など増加している一方で、厚労省は在宅勤務の基準を示しているのみとの意見があり、委員長から秋の教育研究集会でも取り上げる予定との回答。
- ・コロナ禍でのオンライン授業の促進を受けて、体育館面積の見直しなど、規制改革の名のもとに合理化や大学設置基準の見直しが行われようとしているなどの意見も出て、委員長から対応をする予定であるとのコメントがありました。
- ・一法人複数大学についても、該当する大学から現状の報告がありました。

執行部からの提案を受け、それぞれの課題についての今後の取り組みに議論が深まりました。

定時役員選挙では、中央執行委員会役員は信任投票であったが、中央執行委員は定員 10 名に対し 11 名が立候補し、選挙となりました。投票に先立ち、単組でも役員探しに苦労しているのに、全大教の中央執行委員に立候補した方を選ぶのは難しいとの意見もありましたが、前年に執行委員の定員の変更をしており、規定どおり選挙を行いました。なお、鳥畑中央執

行委員長（静岡大）は、再任されました。

私は初めての参加となりましたが、全大教の活動を垣間見ることができました。私は工学部職場代表も兼務していますが、組合と職場代表の差異は何かと常々考えており、組合には、信大内のほか全大教を通じての各単組との情報交換の機会があります。一方、職場代表はそのような繋がりが現在はありません。よって、組合活動の重要性を再確認しました。

（榊 和彦）

就業規則の変更の際に、多くの目でチェックを！

就業規則の変更の際には、各職場（事業場）で職員代表者が意見を述べることになっています。多くの職場で職員代表者が教職員に意見聴取をおこなっていると思いますが、この機会に規則の変更内容をしっかりチェックしましょう。規則は、私たちの就労条件や賃金を決める重要なものです。

たとえば、最近では「ハラスメントの防止等に関する規程」などの変更が予定されています。パワハラ定義を厚生労働省の指針と合わせるための変更ですが、すでに厚労省指針に対しては「新しいパワハラ定義は従来のもより狭く、かえって労働者が保護されなくなるのではないか」という問題点が日弁連などによって指摘されています。私（三木）も職員代表者として、「今回の規則変更で、もっとひろく学内での人権侵害に対処できるようにすべきだ」と意見を述べました。

こうしたチェックは、多くの目があってこそ確かなものになります。変更の際に、意見を示していきましょう。

（南箕輪支部・三木敦朗）

全大教 教研集会への参加者募集

全大教（全国大学高専教職員組合）の教研集会（教職員研究集会）が下記日程で開催されます。参加をご希望のかたは、組合事務局 (akarenga@kbf.biglobe.ne.jp) までご連絡ください。詳しい内容は「全大教 教研集会 2021」でウェブ検索すると見られます。

【開催日】9月11日（土）～12日（日）

【方法】Cisco Webex Meetings によるオンライン開催

【テーマ】「高等教育と大学ガバナンスの将来：誰が、どのように大学をつくっていくのか」

【11日の内容】記念講演、基調報告、分科会（①シンポジウム「高等教育政策と大学ガバナンスの現状と課題」、②教育実践：コロナ禍をどう教育現場は乗り越えたか？ アフターコロナのオンライン授業はどうあるべきなのか？、③労働条件：在宅勤務の現状と課題～、④ダイバーシティとハラスメント、⑤教員養成系大学・学部課題、⑥組合員の拡大【12日の内容】分科会（①教員、②事務職員、③技術職員、④非常勤職員、⑤病院、⑥附属学校、⑦大学共同利用機関、⑧女性、⑨青年、⑩高専）